

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

東京農業大学教職課程

Annual Report

平成28年度版



はじめに

本Annual Reportは、東京農業大学教職課程の活動を本学学生、教職員の皆様のみならず、広く学校関係の方々にお知らせし、ご理解いただくことを目的として平成27年5月に創刊したものです。

東京農業大学教職課程において取得可能な教員免許状は、理科(中・高)、農業(高)、地理・歴史・公民(高)、情報(高)、社会(中)、技術(中)、栄養教諭と多岐にわたっています。在学生の教職への意識も高く、各学年の約2割が教職課程を履修し、履修者の3分の1が毎年4月から教壇に立っています。これは、教育学部を持たない大学としては異例とも言うべき成果です。さらに本課程では在学生のみならず、卒業生はもとより、中・高教諭や一般を対象とした授業支援においても幅の広い活動を展開しています。

本課程では近年、理論(座学)と実践(教育現場に学ぶ)のバランスのよい教員養成に力を入れています。平成25年度から開講した4年次必修科目「教職実践演習」では、他大学に先駆けて教員採用試験合格者に対し現地演習を実施しています。現地演習は教育委員会のご協力を得て、校務全般を教壇に立つ前に経験させるという画期的な試みです。また、本課程では教員採用試験合格に向けても積極的な支援体制を整えています。学生の任意参加となりますが、学科講義のない休日を利用した教員採用試験対策講座を開講しています。この講座は、課程教員と現役中・高教員等外部講師による教員試験の対策ならびに、教員としての資質涵養を目的に開講しています。現役合格を勝ち取る多くの学生が本講座を受講しており、就職後も情報交換を行い、相互に支え合う基盤ともなっています。

以上のように本課程は、本学の歴史と共に広範で堅実な教育活動を長年にわたり展開してきました。このAnnual Reportが皆様の教職課程に対するご理解の一助となることを期待致します。

東京農業大学 教職・学術情報課程主任

小梁川 雅

平成27年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

- 4月** 新入生教職課程ガイダンス
平成28年度教員採用試験直前対策講座開講
教育委員会による教員採用学内説明会(～5月)
平成28年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考
- 5月** 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会
教育ボランティア募集説明会
4年生教育実習開始
- 6月** ホームカミングデー
- 7月** 新入生教職課程履修申込ガイダンス
介護等体験への派遣開始
- 8月** オープンキャンパス
免許状更新講習開催
教員採用試験2次対策講座開講
夏季若手教員研修会開催
高大連携(農業実習)

- 9月** 平成29年度教員採用試験対策講座開講
教員対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ
教職実践演習開講
- 10月** 1年生教職課程履修申込
収穫祭(～11月)
- 11月** 教職実践演習(現地演習)学内説明会
教員対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ
教育委員会による教員採用学内説明会(～12月)
- 12月** 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導
高大連携(学生による出張授業)
- 1月** 教育研究フォーラム
- 2月** 現地演習報告会
- 3月** 卒業式(教員免許状授与)



本学で取得できる免許状

■普通免許状

学 科	高等学校教諭一種免許状	中学校教諭一種免許状
農学部		
農学科	理科・農業	理科
畜産学科	理科・農業	理科
バイオセラピー学科	理科・農業	理科
応用生物科学部		
バイオサイエンス学科	理科・農業	理科
生物応用化学科	理科・農業	理科
醸造科学科	理科	理科
栄養科学科	理科	理科
地域環境科学部		
森林総合科学科	理科・農業	理科・技術
生産環境工学科	理科・農業	理科・技術
造園科学科	理科・農業	理科
国際食料情報学部		
国際農業開発学科	理科・農業	理科
食料環境経済学科	地理歴史・公民・農業	社会
国際バイオビジネス学科	農業・情報	社会
生物産業学部		
生物生産学科	農業	—
アクアバイオ学科	理科	理科
食品香粧学科	理科	理科
地域産業経営学科	公民	社会

■栄養教諭免許状

学 科	免許状の種類
応用生物科学部	一種免許状
栄養科学科管理栄養士専攻	

教員採用試験対策講座 教員採用試験合格者から学ぶ

教員採用試験対策講座では例年「教員採用試験合格者から学ぶ」と題して、若手OB教員を招き「合格への道」を伝授していただいています。平成27年9月には千葉県立松戸馬橋高校杉原翔太先生、さいたま市立大宮八幡中学校岡田祥先生、都立科学技術高校伊勢西祥先生、同年11月には横浜市立寺尾中学校光畑香里先生、江戸川区立葛西第三中学校飛田有日香先生、都立多摩科学技術高校工藤大志先生が来訪されました。新任の工藤先生は部活の朝練で7時半から出勤し、下校完了後の18時から事務処理や教材研究に取り組む日々を、また、杉原先生は多忙な教員生活を支える自身のモットー、「しっかり食べる。しっかり寝る。しっかり遊ぶ」を紹介して下さいました。学校生活を楽しくそうに語る先輩は後輩のよき目標です。



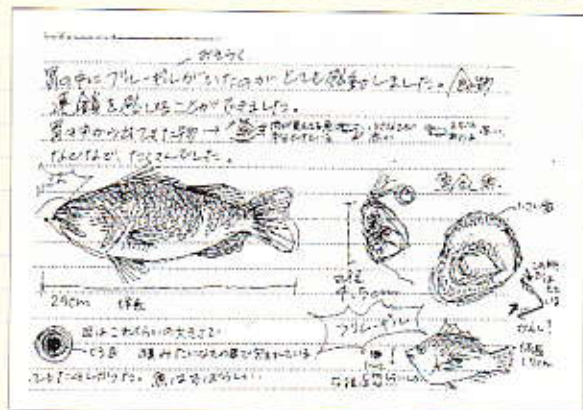
平成27年度 教職課程履修者数

学年・資格種別	1年生														2年生														3年生														4年生													
	人数	専攻	中専	専攻	社会	地産	公民	情報	農学	人数	専攻	中専	専攻	社会	地産	公民	情報	農学	人数	専攻	中専	専攻	社会	地産	公民	情報	農学	人数	専攻	中専	専攻	社会	地産	公民	情報	農学																				
農学科	11	11	21	21	0	0	0	0	0	49	25	27	23	0	0	0	0	0	46	27	30	16	0	0	0	0	0	64	27	17	49	0	0	0	0	0																				
畜産学科	29	16	19	18	0	0	0	0	0	24	17	16	16	0	0	0	0	0	32	16	22	25	0	0	0	0	0	28	24	22	22	0	0	0	0	0																				
バイオセラピー学科	48	18	30	30	0	0	0	0	0	52	12	11	18	0	0	0	0	0	31	7	20	27	0	0	0	0	0	23	16	16	16	0	0	0	0	0																				
専攻 計	102	55	70	69	0	0	0	0	0	129	65	64	60	0	0	0	0	0	109	60	78	60	0	0	0	0	0	115	97	52	87	0	0	0	0	0																				
バイオサイエンス学科	25	1	24	25	0	0	0	0	0	21	2	21	21	0	0	0	0	0	21	8	21	21	0	0	0	0	0	26	16	24	25	0	0	0	0	0																				
動物応用化学科	16	1	16	16	0	0	0	0	0	21	4	21	21	0	0	0	0	0	20	5	19	19	0	0	0	0	0	18	3	18	18	0	0	0	0	0	0																			
農産科学科	30	0	30	30	0	0	0	0	0	8	0	8	8	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	0	0	0	0	7	0	7	7	0	0	0	0	0	0																			
栄養科学科(栄養)																			1	0	2	2	0	0	0	0	0	2	6	0	3	3	0	0	0	0	0																			
栄養科学科(1科目)																																																								
栄養科学科(管理)																																																								
森林総合学科	29	12	24	25	17	0	0	0	0	42	14	35	26	19	0	0	0	0	40	22	25	25	20	0	0	0	0	37	21	31	14	17	0	0	0	0	0																			
生産環境工学科	22	7	16	16	9	0	0	0	0	19	7	17	14	0	0	0	0	0	24	4	20	21	19	0	0	0	0	33	13	25	15	24	0	0	0	0	0																			
造園科学科	9	7	6	7	0	0	0	0	0	16	11	11	11	0	0	0	0	0	18	12	12	12	0	0	0	0	0	9	5	7	7	0	0	0	0	0	0																			
国際農畜開発学科	35	19	21	24	0	0	0	0	0	28	18	18	19	0	0	0	0	0	25	19	19	19	0	0	0	0	0	32	29	27	27	0	0	0	0	0	0																			
森林環境経済学科	35	21	0	0	11	20	17	0	0	25	23	0	0	18	22	19	0	0	32	28	0	0	12	11	11	0	0	34	20	0	0	7	23	20	0	0	0																			
国際バイオビジネス学科	10	6	0	0	6	0	0	0	0	8	6	0	0	4	0	0	0	0	10	7	0	0	6	0	0	0	0	14	8	0	0	5	0	0	0	0	0																			
学部 計	217	74	123	124	26	19	20	17	5	23	210	68	124	130	35	22	22	19	4	11	207	103	129	125	30	18	11	11	5	19	232	115	149	148	23	28	23	20	8	19																
生物生産学科	17	17	0	0	0	0	0	0	0	18	18	0	0	0	0	0	0	0	22	22	0	0	0	0	0	0	0	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
アグロバイオ学科	17	0	16	17	0	0	0	0	0	14	0	13	13	0	0	0	0	0	21	0	20	21	0	0	0	0	0	19	0	18	17	0	0	0	0	0	0	0																		
食品化学科	5	0	2	3	0	0	0	0	0	7	0	7	7	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0																		
環境栄養科学科(1科目)																																																								
環境栄養科学科(1科目)																																																								
環境栄養科学科(1科目)																																																								
その他 計	46	17	18	22	0	2	0	6	0	53	18	19	20	0	7	0	34	0	59	22	23	0	3	0	12	0	0	62	23	23	14	0	8	0	12	0	0	0																		
大学 計	363	146	211	218	26	21	20	23	5	23	302	166	240	255	33	29	22	33	5	11	328	185	225	228	50	23	11	24	5	10	408	235	257	258	23	36	23	32	4	19																

※各学年2学期に履修登録許可された数 ※1年生は、12月1日(火)時点の人数確認学生数【履修料振込期間 10月19日(月)～23日(金)まで】

夏季若手理科教員研修会

平成27年8月9日に八王子市立由井中学校長和田先生を講師として、本学OB・OG現職中高理科教員ならびに理科教員志望の木学生を対象とした研修会を開催しました。研修会では中学理科「動物の体のつくりと働き」、「動物の仲間」の単元で扱うことのできる実験実習を主題として、「魚の不思議」をテーマに和田先生が開発した教材を用いながら、琵琶湖の外水魚であるブラックバスやブルーギルの解剖を行いました。参加者一人ひとりが実際に手を動かし興味を持って観察することで、魚の体の構造や仕組みについてより理解を深めることができました。また、胃の内容物を観察する際に出てきたザリガニや小魚などを発見したことで、琵琶湖における生態系についても話し合い、楽しみながら実習に取り組みました。現場教員からは「高校生物を担当しています。生態系の単元で何の実験をしようか悩んでいましたが、今日ヒントをもらうことができました」、「授業準備に追われる中で、調べるものよりも自分の知識経験に基づいたものを活用する方が生徒の反応が良いので、今回の解剖実験を授業で活用したい」、「また機会があったら参加したい」という声が多数寄せられました。



第18回東京農大教育研究フォーラム

平成28年1月30日に現職中高教員と地域の方々、教職課程の学生を対象として、長年理科教育に携わってこられたお二人を講師にお招きし教育研究フォーラムを開催しました。横浜国立大学非常勤講師福田恵先生には「教師は学びの先遣」というテーマで、福田先生の教員生活での実体験を振り返りながら、教師とはどうあるべきかについてのご講演をいただきました。また、元新潟県公立学校校長金安龍一先生には「科学的探究の指導のあり方」というテーマで、数々の賞を受賞してきた金安先生がどのように生徒を理科研究へ導いたのか、その指導法について具体的に数多くの研究の紹介を通してご講演いただきました。学生をはじめ多くの聴講者が金安先生、福田先生のご講演の中から教師として今後の理科教育の在り方や指導法についてヒントをもらいました。その後の懇親会では本年度実施の教員採用試験合格者



も加わり、両先生を囲みながら親睦を深めることができました。



平成27年度 教育実習への取り組み：実践的指導力を育む

■教育実習全体指導

農大教職課程では教育実習に向けて、3・4年次に全6回の教育実習全体指導を行います。全体指導がない週は模擬授業を行い、授業研究、教材研究に務めています。特に2、3年次生を対象として毎年12月土曜日に実施される全体指導では、世田谷・厚木両キャンパスの学生を百周年記念講堂に集め、現場の校長先生をお招きし「教育実習に臨むにあたっての心構え」をご教授いただいております。

平成27年度は、八王子市立由井中学校校長和田薫先生にご講演をお願いしました。由井中では多くの農大生が学生ボランティア（学生サポーター）としてお世話になり、実践的指導力を育む機会をいただいております。教育現場での学びが学生の確かな自信に繋がっています。

当日午前中には、継続して現役合格者を輩出している栄養教諭の実習指導として、全国学校栄養士協議会会長長島美保子先生のご講演がありました。



教育実習訪問指導

平成27年度は教育実習生245名を全国へ送り出しました。農大教職課程の教員は例年、東京都公立校ならびに特に要請があった自治体へ教育実習訪問指導にうかがいますが、これに加えて、教員就職支援及び教員採用に関する意見交換を目的として、全国の農業高校及び教育委員会へご挨拶にうかがっています。本年度は長野県2校、高知県、沖縄県各1校の計4校の農業高校と各教育委員会を訪問しました。

長野県更級農業高等学校では校長嘉部義久先生から県農業高校の採用状況をうかがった後、簿記の研究授業を見学しました。長野県木曾青峰高等学校では森林環境科杉木三邦先生から雄大な自然に囲まれた木曾青峰ならではの地域と密

着した活動をうかがいました。高知県立高知農業高等学校田中彰治校長からは教育実習生の心構えをご助言いただいた後、食品加工実習のトマトソース作りを見学しました。また、沖縄県立中部農林高等学校では与那嶺国彦校長に本学教職課程への助言に加えて、県農業教員の採用状況をうかがいました。今回の訪問では、農大が現在取り組んでいる実践的指導力を有する教員養成の重要性と農大教職課程が果たすべき役割を改めて実感しました。



本学の教育実習生を受け入れて下さいました全国の小学校、中学校、高等学校の先生方に心から感謝いたします。



教職実践演習の取組

現地演習報告会

「教職実践演習」は本学教職課程が進める指導の総仕上げ(学びの軌跡の集大成)として実施しています。なかでも、教員採用試験に合格した学生を対象に教育委員会管下の学校で行う「現地演習」は本学「教職実践演習」の大きな柱となっています。学生は学校現場における実践的な演習を通じて、教職の課題を明確にし自己の資質・能力の向上に生かします。「現地演習」の成果は、「現地演習報告会」によりフィードバックされます。

平成 27 年度「現地演習報告会」では、活動報告として学校の概要から授業準備、校内作業・行事等各自が参加した演習内容が紹介されました。特に教育実習では体験できなかった校務分掌や各種委員会、週案作成、校内掲示物の作成、公開授業等様々な活動を経験したことで、4月から教壇に立つに際して多くの課題を自覚し、着実な準備を行おうという意欲が一層高まったようです。「教員になるために4月までに具体的に何をすべきか、学びました」、「人間としてのコミュニケーション能力、忍耐力を鍛えたい」等、新たな目標が提示されました。報告会後は懇親会が催され情報交換を行い、同期生の絆を深めました。



先生からの一言

何より生徒が第一!

学習指導要領は必読!

できます! やります!

空き時間を大切に!

大人としての自覚を持つ!



教職課程研究室訪問

技術科教育研究室 星野欣也准教授

東京農大の伝統「ものづくり」を支える教員を全国に数多く輩出している技術科教育研究室。技術科教員を養成する大学は全国でも数少なく、近年技術科教員が不足する中で100パーセントの就職率を誇っています。技術科教育研究室で教鞭を取る星野欣也先生は木工加工、金属加工、機械、技術科教育法を担当し、東京都技術科教員としても勤務経験のあるベテラン。道具の使い方ははじめ、生活の中で活用できる木工・金工製作を中心に実践的指導を行っています。星野先生は「自ら手を動かし、実践的な道具の使い方と手仕事の魅力を伝える」をモットーに、農大ならではの技術科教員を養成しています。

「実践的道具考」をテーマとして、星野先生が長年取り組んでいるのは、鎌倉時代末期に使用され始めたとされる製材用の鋸(のこぎり)、大鋸(おが)の研究です。大鋸の一種である前挽(まえびき)は刃渡り50センチ程で峯が丸くクジラのような大きな鋸で、古民具店で見かけることもあります。大鋸研究の第一人者であり、日本の伝統文化にも造詣が深い星野先生は、現在わが国で独自の発展を遂げた前挽大鋸の全国調査に取り組み、各地の大鋸を収集されています。全国を歩き回り、職人、研究者を問わず実際に会い話を聞くという地道なフィールドワークを大切にされた先生のご研究が農大教職課程技術科教育を支えています。

星野先生は本年度9月24日開催の教育研究フォーラムで「古い鋸を調べる」と題してご講演されます。是非ご参加下さい。



平成28年度 教員採用者数&合格者の声



埼玉県公立中学校 (理科)

教職課程を通して、教育の奥深さに魅力を感じ、教員になることを目指しました。熱心な指導をしてくださった農大の教職課程の先生や、互いに切磋琢磨することができる友達がいいたからこそ、採用試験に合格することができました。皆さんもぜひ、教員を目指し頑張ってください！
(バイオサイエンス学科・平成28年3月卒)



横浜市公立中学校 (理科)

教職課程を履修することで、同じ志を持った仲間が生まれました。採用試験に向けて、練習をしい、アドバイスを貰ったりと、互いに高めあえる仲間がいたことが自信にもなりました。
(国際農業開発学科・平成28年3月卒)



群馬県公立高校 (農業)

私が心掛けていることがいくつかあります。それは常に独創的な視点を持つこと、考えたことを行動に移すこと、ユーモアを大切にすることです。私にとって、教職課程の先生方や職員の方々、教育実習でお世話になった母校の先生方から助言や指導を頂けたことが何よりも幸せなことでした。ありがとうございます。
(近岡科学科・平成28年3月卒)



東京都公立中学校 (理科)

農大は、学科の特色をこなし上て教職課程を学んでいくので、とても大変です。ですがそこから得るものは多く、教職課程の仲間や先生方と一緒に頑張ってきて本当に良かったと思っています。やってみたくてという気持ちがあるのなら、ぜひ挑戦してみてください。
(生物応用化学科・平成28年3月卒)



東京都公立高校 (農業)

教職課程で多くの先生方や学友と出会い、知識や価値観の幅をぐっと広げることが出来ました。実学生義をモットーとした授業・実習だからこそ実践的で楽しく、詳しく学べたのだと思います。授業は多いですが、それに見合うだけの経験ができるはずです。夕暮れの色を浴びながら受けた講義も良い思い出です。
(国際農業開発学科・平成28年3月卒)

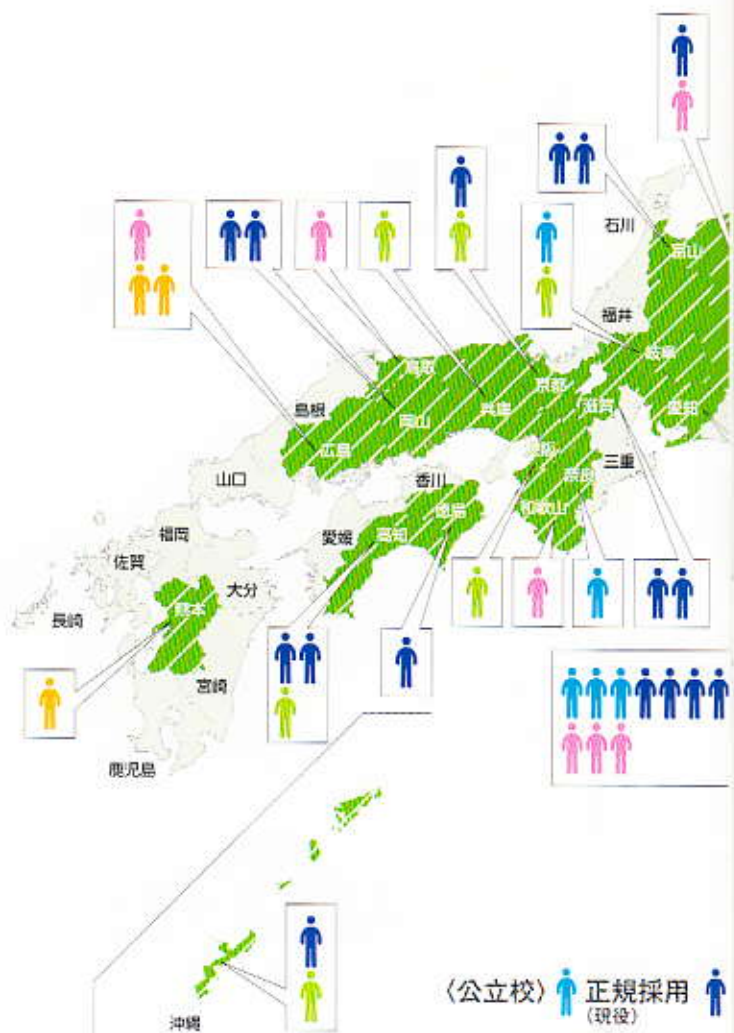


岐阜県公立高校 (農業)

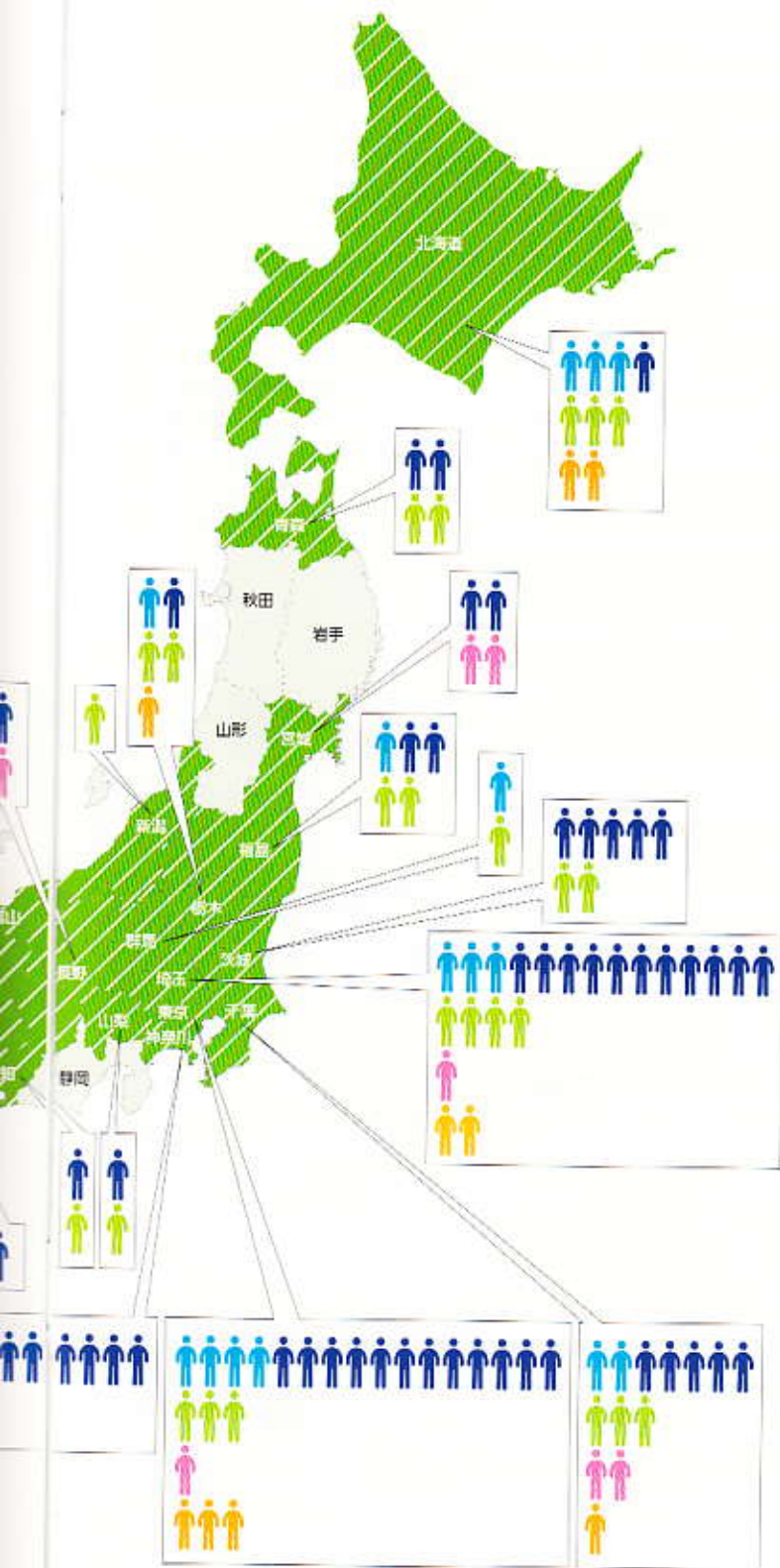
実学生主義の理念の下で行われる教職課程の授業は他大学では学べないことが多く、たくさんの経験を積むことができました。農大で学んだからこそ夢を叶えることができたと思います。教員になりたいという気持ちを忘れず努力をすることが何よりも大切です。夢をあきらめず最後まで頑張ってください！！
(森林総合科学科・平成28年3月卒)

採用種別	人数
● 正規採用 (公立)	81 (62)
● 常勤講師 (公立)	31 (5)
● 非常勤講師 (公立)	5 (1)
● 実習助手 (公立)	5
● 正規採用 (私立)	4
● 常勤講師 (私立)	3
● 非常勤講師 (私立)	5 (1)
総計	134 (69)

※平成28年4月現在、カッコ内は障害者。
※大学院生・科目専攻修生は取組者扱い。
※学校栄養職員4(1)名。



※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、全国の各教育委員会にご協力を



北海道公立高校 (農業)



教職課程を履修することによって同じ志を持つ新しい仲間が増えたこと。更には、多くの先生方からのご指導や支援があり、教職課程を履修していなければ経験することの出来なかつた事柄が多かつたと思います。
(食料環境経済学科・平成28年3月卒)

川崎市公立中学校 (理科)



貴学以外の分野も勉強してみたい!そんな気持ちから教職を履修しました。農大の教職課程には、初身になってサポートしてくださる先生方、一緒に高め合える仲間たちが沢山います。自分の可能性を信じ、色々なことに挑戦して下さい!
(農学科・平成28年3月卒)

千葉県公立中学校 (理科)



私の教育実習が有意義なものになったのは、大学の教職課程があつてこそものだと思う。何事においてもしっかりと土台を作って臨み、日々精進することが理想の教員像に近づく近道だと思う。
(生物応用化学科・平成28年3月卒)

埼玉県公立高校 (農業)



私は高校時代の恩師に薦められ、東京農業大学に入学し教員への道を歩み始めました。教職を学ぶうちに教育への関心が高まっていく反面、教員という漠然とした目標に戸惑いもありました。教員として農業の持つ教育力を引き出し、生徒が将来に希望を感じてもらえるような教育を行っていきたいです。
(バイオセラピー学科・平成28年3月卒)

埼玉県公立小学校 (栄養教諭)



4月からふるさと埼玉県の栄養教諭として働くことが決まり、大変嬉しいです。安心安全な給食の提供を通して子供たちを笑顔にするのと同時に、埼玉県の特徴を生かした食育の展開ができればいいなと思っております。周りの人達への感謝を忘れずに頑張ります。
(管理栄養学科・平成28年3月卒)

相模原市公立中学校 (理科)



私ははじめて教員になろうと思ったのは小学校1年生の時でした。この確かな想いを、確かな現実にしてくれたのは言うまでもなく東京農業大学の教職課程の先生方たちです。教職課程の先生方を頼り、あきらめずに頑張ってください!頑張った成果は必ずあとについてきます。
(造園科学科・平成28年3月卒)

正規採用 (既卒)
 常勤講師
 非常勤講師/実習助手
 (私立校)

ありがとうございました。誠にありがとうございました。

平成28年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月、7月>
- 教育実習生の派遣<5月～11月>
- 教育委員会、東京私立中学高等学校協会担当者による学内説明会<4月～5月>
- 学校ボランティア説明会<4月～5月>
- 教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考<4月>
- オープンキャンパス<8月>
- 介護等体験への派遣<3年次 7月～2月>
- 平成28年度免許状更新講習の開催<8月22日(月)～26日(金)>
- 夏季若手教員研修会の開催<8月11日(祝日)>
- 平成28年度免許法認定講習<8月22日(月)～27日(土)>
- 教員採用試験対策講座の開催(世田谷・厚木キャンパス)<9月～翌年8月>
<講座全38回、模擬試験3回予定>
- 教育研究フォーラムの開催(世田谷キャンパス)<9月24日(土)>
- 新入生(1年次生)教職課程履修申し込み<10月>
- 教職実践演習(現地演習)学生派遣<11月～翌年2月予定>

平成28年度夏季若手教員研修会

日 時:平成28年8月11日(山の日のため祝日) 13:00～16:00

場 所:東京農業大学世田谷キャンパス15号館3階教職課程地学・化学実験室

講 師:東京農業大学教職課程 武田晃治・東北農業研究センター 村上敏文

研修内容:色素を用いた理科実験・農学実験

教職課程理科教育研究室では、食用色素に着目した理科実験教材の開発を行っています。食用色素の中には最近話題の抗酸化作用を有するものが存在します。本研修会では、理科教育教材開発の一環として色素の抗酸化作用や色調変化に着目した実験を体験します。また、同じく色素を用いた農業科教育教材開発として染色法による根の分布の観察実験を体験します。是非中高の授業展開にご活用ください。当日、授業テキストを配布します。

平成28年度 免許状更新講習

日 時:平成28年8月22日(月)～26日(金)

受講対象:中学校技術・中学校理科・高等学校理科・高等学校農業の現職教員

受講定員:20名(受講料 35,000円)

講義内容:必修領域 「教育の最新事情」 平成28年8月26日(金) 選択必修領域 「教育の最新事情」 平成28年8月23日(火)
選択領域 「環境・活性酸素・木材」 平成28年8月22日(月)・8月24日(水)・8月25日(木)

応募条件:5日間すべて受講できる方

応募方法:平成28年6月16日(木)10:00～受付

東京農大ホームページから「免許状更新講習受講申込書」をダウンロードし、メールでの申し込みとなります(先着順)。

平成28年度 免許法認定講習

日 時:平成28年8月22日(月)～27日(土)

受講対象:公立農業関係高等学校勤務の実習助手(教諭免許未取得者) 受講定員:30名

応募条件:勤務成績が良好で学校長の推薦がある者 応募方法:詳細は教職学情課(03-5477-2512)へお問い合わせ下さい。

第19回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時:平成28年9月24日(土) 13:00～16:00

開催場所:世田谷キャンパス 農大アカデミアセンター横井講堂(地下1階)

講演者及び講演題目:東京農業大学教職・学術情報課程准教授 星野欣也 「古い鋸(のこぎり)を調べる」
東京学芸大学環境教育研究センター教授 樋口利彦 「環境の体験と調査の教育活動によって導かれる探学的な環境学習ーグローブプログラムの経験をもとにー」

東京農業大学教職課程ホームページ開設

<http://www.nodai.ac.jp/edu/index.html>

東京農業大学教職課程 Annual Report [平成28年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

教職学情課 03-5477-2512

e-mail:kyosyoku@nodai.ac.jp

No.2 2016年4月26日